

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 26-002

PDCA	事務事業名	計画的修繕等整備事業	部課等名	建設部建築課住宅施設担当	担当 内線等	若林 462	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節：第2節 都市基盤の整備 基本施策：2. 住宅・住環境整備 単位施策：(2) 住宅セーフティーネットの維持 個別施策：①住宅困窮者への供給維持					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	平成16年度から30年間の修繕計画に基づき、市営住宅の修繕及び改修を行うことで施設の長寿命化及び安全・安心な環境保持に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	修繕計画に基づき、単年度毎の予定事業を予算化し、年度内工期と施工管理の徹底を図り、事業を完了させる。また、現場の状況を常に把握し、必要な修繕・改修を計画して行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①外壁改修・屋根・屋上防水改修工事（各棟数）	2	0	0	件	
		②受水槽改修工事（棟数）	0	1	4	件	
		③高齢者対応外手摺設置工事（棟数）	0	0	0	件	
		事業費	23,760	4,740	50,820	千円	
		人件費	4,997	4,658	4,629	千円	
		総事業費	28,757	9,398	55,449	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①対象住宅1棟あたりの改修費	14,379	9,398	13,862	千円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①計画的修繕・整備の進捗率	実績値	56.0	57.3	62.4	%
		目標値	56.0	58.4	59.8		
			実績値				
			目標値				
		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		「半田市営住宅長寿命化計画」を踏まえ、長期的な管理戸数を考慮した修繕・整備を行った。今後の維持管理についても、より効率的な維持管理に努める必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			市営住宅廃止事業を踏まえ、計画的・効率的な工事施工、維持管理を行うことにより安全・安心な環境保持を図る。				
		令和3年度の目標	成果指標	目標値			単位
			①計画的修繕・整備の進捗率	63.4			%
②長寿命化計画の修繕等の実施数／事業数			100			%	